



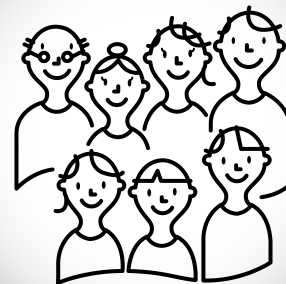
さわやか

# バスツアー検診



## のお知らせ

札幌対がん協会検診センター



市民健康ガイド

◆日 時 9月17日(土)・10月12日(水)

7時30分 市役所前発(無料送迎付)

帰りは14時30分ころ市役所前着の予定です。

◆申込方法 ☎34-2280 平日8時30分から17時00分まで

そのほか、郵便やファックス、インターネットでも申込みが可能です。詳しくは、広報4月号折込チラシをご覧ください。

\* 広報4月号折込チラシは、交流センターみらい・総合体育館・茂尻支所・平岸連絡所・市役所健康づくり推進係窓口にありますので、ご利用ください。

◆申込締切 ・9月17日(土) → **9月2日(金)**まで ・10月12日(水) → **9月23日(金)**まで

※申込み締切り後は、ご相談ください。

(冬期のバスツアー検診は11月15日(火)です。広報10月号でお知らせします。)

| 検診の種類     | 検診内容                    | 対象   | 料金  |
|-----------|-------------------------|--|---|
| 特定健診・健康診査 | 身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査・診察など | <b>特定健診</b> : 赤平市国保加入者(40~74歳)<br><b>健康診査</b> : 後期高齢者医療(75歳以上)・生保(40歳以上)<br><b>20歳代・30歳代健診</b> : 20~30歳代で職場などで健診を受ける機会のない方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>赤平市国保加入者、後期高齢者医療の方、40歳以上の生活保護受給者は、無料。</li> <li>上記以外の保険の方は各保険者にお問合せの上、受診券を発行してもらってください。</li> <li>20~30歳代の方は1,000円(非課税・生保は500円)</li> </ul> |
| がん検診      | 胃がん                     | 胃バリウム検査  | 各1,000円   |
|           | 肺がん                     | 胸部レントゲン検査  |   |
|           | 大腸がん                    | 便潜血検査(2日間)   |   |
|           | 子宮頸がん                   | 子宮頸部細胞診  | 肺がん(胸部レントゲン) 500円<br>生活保護受給者・市民税非課税世帯の方は各500円   |
|           | 乳がん(マンモグラフィーのみ)         | マンモグラフィー   | 女性20歳以上<br>昨年度受診者は自費<br>女性40歳以上<br>昨年度受診者は自費<br>子宮頸がん自費5,350円<br>乳がん自費6,180円  |
| 肝炎検査      | 血液検査                    | 40歳以上で過去に肝炎検査を受けたことがない方  |   |
| エキノコックス検査 | 血液検査                    | 小学3年生以上  | 300円  |

\* ほかにも、肺ヘリカルCT・骨粗しょう症検査・前立腺がん検診・腹部エコー・内臓脂肪測定などを自費で受けることができます。(料金はお申込み時にご確認ください。)

\* 次の方は申込み時にお申し出ください。

- 平成27年度非課税世帯の方・生活保護受給者。確認ができ次第、検診料金を減額します。
- 乳・子宮頸・大腸がん検診無料クーポン及び、無料子宮頸がん検診受診券をお持ちの方。

『8月のにじカフェはお休みです』 次回のにじカフェは9月8日(水)14:00~16:00です。



今月の  
お知らせ



タバコラム

## 「若い女性と喫煙」

20歳代の女性の喫煙率は、昭和40年度が6.6%、平成14年度が24.3%であり、ここ40年足らずで約4倍増加し、約4人に1人が喫煙していました。その後たばこ対策が進み、平成26年度では10%に減少。たばこの害が広く理解されるようになりました。(日本専売公社、日本たばこ産業株式会社による調査より)

### 美容の大敵

- ・たばこを吸うと血管が収縮し、血行が悪くなったり、メラニン色素の代謝やコラーゲンの成分に関係するビタミンCを体内で消費させたりと、肌が荒れて潤いが失われ、シミ・そばかすになりやすくなります。
- ・メラニン色素の沈着や、歯へのタールの沈着をおこしやすく、唇や歯肉の色が悪くなり、口臭も強くなります。

### 母乳への影響

- ・たばこを吸っている母親の母乳の中には、ニコチンが含まれます。(1日20本以上たばこを吸っている母親の母乳を飲んだ新生児が、いらいらする、眠れない、吐く、下痢、頻脈などのニコチン中毒症状を起こしたという報告があります)

### 赤ちゃんや子どもへの影響

- ・家族に喫煙者がいると赤ちゃんの尿から、ニコチンが検出されることがあります。(生後18日前後の赤ちゃんでは60%、生後3週間から1歳までの赤ちゃんでは53%~77%に尿からニコチンが出てきているという報告があります)
- ・母親が喫煙する場合、子どもは肺炎・気管支炎などの呼吸器疾患になりやすく、また、身体発育にも影響があるといわれています。

### 妊娠への影響

- ・不妊の危険性が高まります。
- ・経口避妊薬(ピル)を服用している場合、虚血性心疾患にかかる危険性が高くなるという報告があります。
- ・胎児の発育障害が引き起こされるといわれています。
- ・自然流産1.5倍・早産1.4~1.5倍(吸う本数が増えるほど、早産しやすくなる)
- ・死産と生後1週間未満の新生児死亡1.2~1.4倍
- ・出生時の体重が2500g以下の低出生体重児が生まれる頻度が約2倍
- ・出生時の体重は、平均200g軽い
- ※妊娠前に禁煙をすると子どもの出生体重は、たばこを吸ってない妊婦と同じレベルになります。

平成27年度、赤平市では育児中のお母さん31人中11人(35.5%)が喫煙！妊婦さんは42人中8人(19.0%)が喫煙していてともに多い数字です！